

# 鳥が丘



## 「せかいいち」の学校をめざして



～子どもたちとともに「人跡未踏」のバトンをつないで～

校長 松崎 由里子

「突然の休校 友達に会えない日々が 続きました」

「みんなで意見を出し合って決めた 今年ならではの特別な学年目標 『人跡未踏』」

「一步一步 これまでにない足跡を 残してきました」

令和3年3月19日。第41回卒業証書授与式での、卒業生の言葉です。コロナ禍、前代未聞の休校から始まった昨年度。それでも昨年の6年生は、「人跡未踏」という、なんとも素敵な言葉を学年目標に選び、「こんな時だからこそ」を合言葉に、「スマイルリレー」「フラワーリレー」など、今までにない学校生活を創り上げました。残念ながら本番には出席できなかった在校生代表の5年生は、卒業式の予行練習に参加し、素晴らしい姿で6年生の熱い思いを受け止めました。「お別れ式」では、卒業生を送った後、ずっと手を振る1年生から4年生、美しいリコーダーで送り出す5年生にこたえるように、昇降口に入ってから卒業生は手を振っていました。子どもたちの思いは、しっかりと受け継がれています。

保護者の皆様におかれましては、お子様のご入学・ご進級おめでとうございませう。86名の新1年生を迎え、今年度は、全校児童570名となりました。そして私は、鳥が丘小学校の校長3年目となりました。11名の新しい教職員を迎え、新年度をスタートします。

「人跡未踏」—卒業生が渡してくれたバトンを受け取り、つないでいく今年度の学校づくりの合言葉として(1月学校だよりでもお知らせしましたが)、『せかいいち』の学校をめざしていきます。何かと比べて、誰かと比べて「世界一」ではなく、一人ひとり違う、その子の「せかいいち」を見つけ、実現できる学校を目指していきます。コロナ禍においても、どうかして自分たちの思いを実現しようと取組む子どもたちの思いや願いを最大限生かしながら、一緒に取り組んでいきたいと考えています。

最後に、この春本校を離退任された教職員の皆様におかれましては、鳥が丘小学校のために、長きにわたりご指導ご支援をいただき、ありがとうございました。新しく鳥が丘小学校の一員になった教職員とチームとなって、子ども一人ひとりがその子らしい笑顔を輝かせることができるように頑張ります。地域、保護者の皆様、どうぞ、これまでに引き続き、ご理解、ご支援をいただきますよう、よろしくお願ひいたします。

せかいいち

こうし たろう

すくすくの くさ  
ぼかぼかの おひさま  
ひるねのできる  
そよそよの こかげ  
.....

それだけあれば  
ぼくの いちにちは  
せかいいち



『のはらうた』 くどう なおこ作 より